



令和7(2025)年1月30日

医療介護福祉研究フォーラム 新春座談会

「医療提供体制改革の展望 - 医療機関の機能分化と連携、医師偏在対策を中心の一」

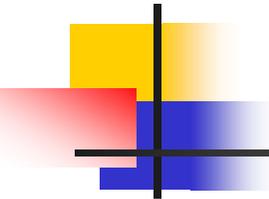
# 全身麻酔件数からみる医師の偏在の現状

横浜市立大学大学院医学研究科・医学部

麻酔科学教授

後藤 隆久



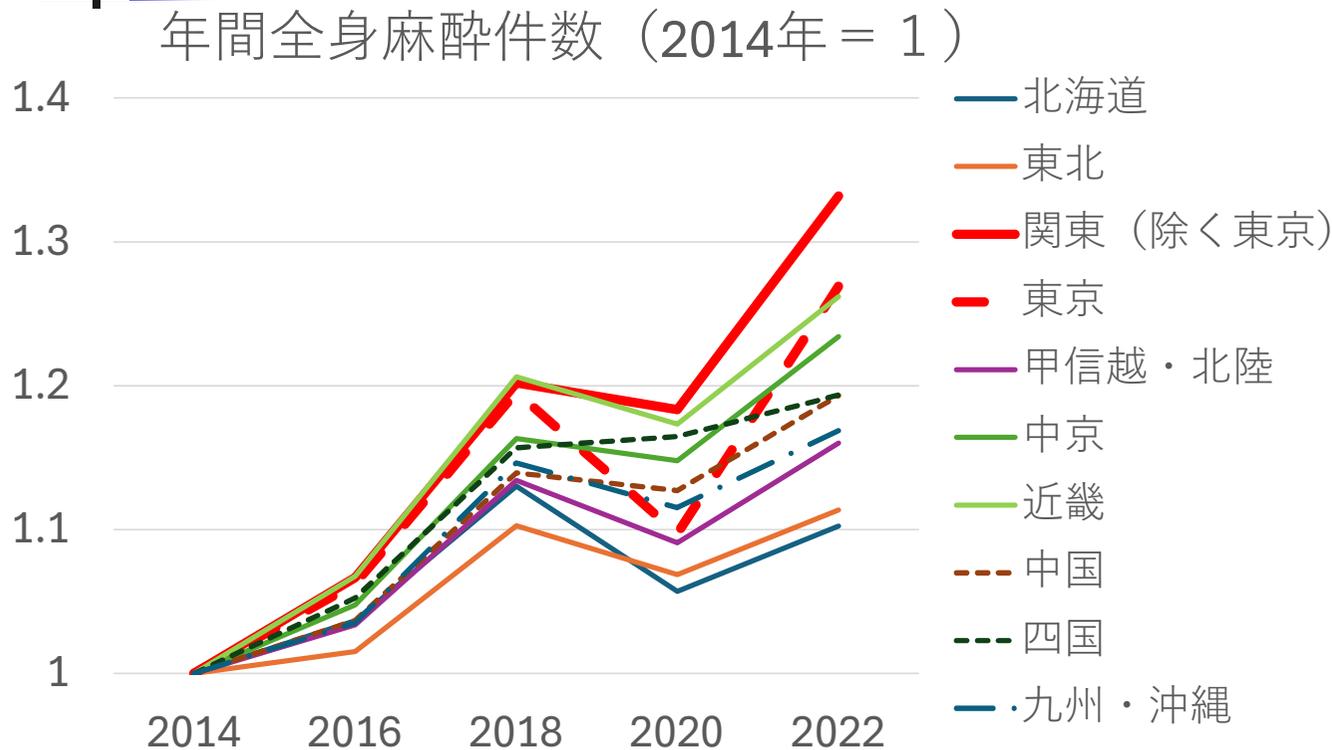


## 問題意識

---

- 「医師偏在対策」を考えるとき、かかりつけ医は二次医療圏(かもっと細かい地域)単位で均霑化を図る一方、全身麻酔下の手術を行うような医師はもっと大きな地域単位で論じることとも考慮される。
- 今回、公開データをもとに、外科系医師および麻酔科医一人当たりの全身麻酔件数を都道府県間で比較し、本当に大都市圏は医師が潤沢なのか、検証する。

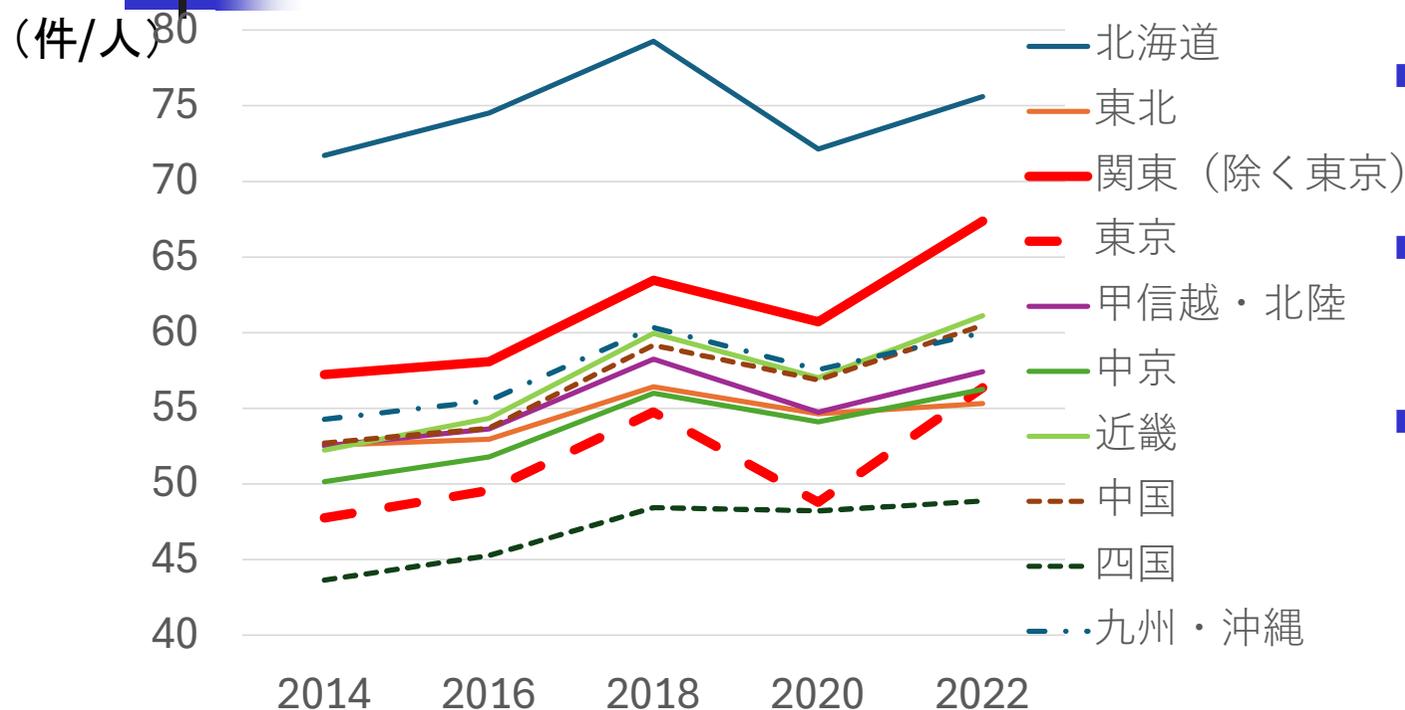
# 全身麻酔件数の増加率は関東地方（東京を除く）が全国で最も著しい



- 全国合計では、2022年度は2014年度比1.225
  - 2014年度→2022年度で 326万件→400万件
- これを上回るのは、関東、東京、近畿、中京の4地域
  - 静岡1.284、愛知1.226
  - 大阪および兵庫 1.288

• 厚生労働省 NDBオープンデータ <https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000177182.html> より、各年度の入院閉鎖循環式麻酔（静脈麻酔を除く）の総数

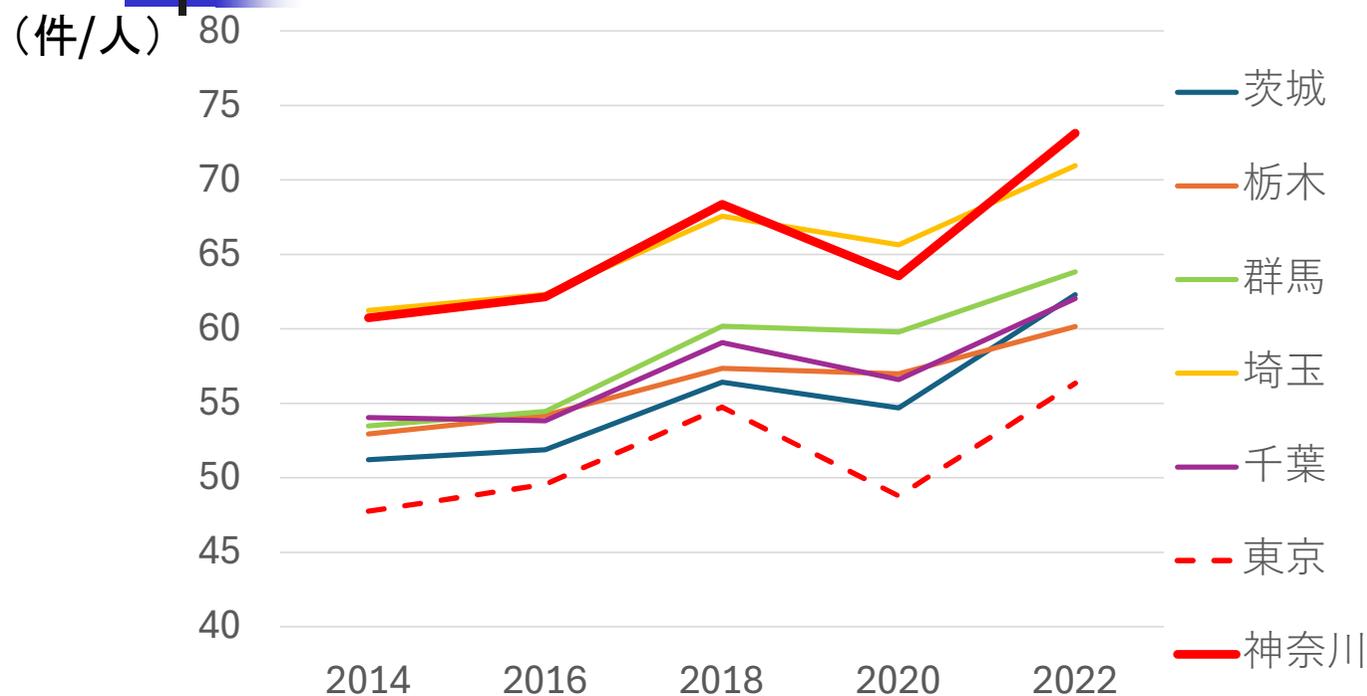
# 外科系医師1人あたりの年間全身麻酔件数は、北海道に次いで関東（除く東京）が多い



- 関東は近年の増加傾向も他地域より目立つ
- 東京都は件数が少ない  
→外科系医師が集中
- 全国平均は、2014年度  
→2022年度で  
53.4→60.5件/人

- 全身麻酔件数は 厚生労働省 NDBオープンデータ <https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000177182.html> より、各年度の入院閉鎖循環式麻酔（静脈麻酔を除く）の総数
- 外科系医師数は厚生労働省 医師・歯科医師・薬剤師調査 <https://www.mhlw.go.jp/toukei/list/33-20.html> より、病院の外科系（美容外科、眼科を除く）を「主たる診療科」に選んだ医師数

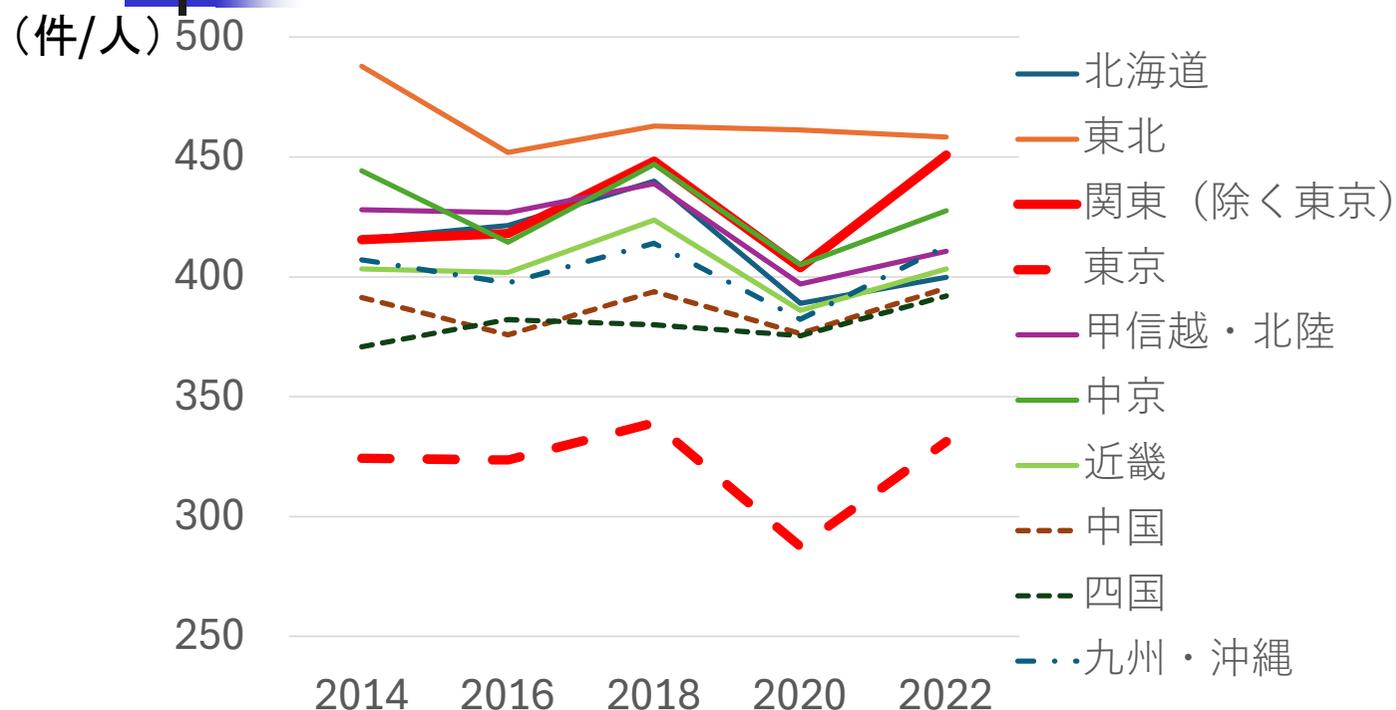
# 外科系医師1人あたりの年間全身麻酔件数は、 関東では埼玉と神奈川が多い



■ この2県と東京都を除くと、  
全国平均程度

- 全身麻酔件数は 厚生労働省 NDBオープンデータ <https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000177182.html> より、各年度の入院閉鎖循環式麻酔（静脈麻酔を除く）の総数
- 外科系医師数は厚生労働省 医師・歯科医師・薬剤師調査 <https://www.mhlw.go.jp/toukei/list/33-20.html> より、病院の外科系（美容外科、眼科を除く）を「主たる診療科」に選んだ医師数

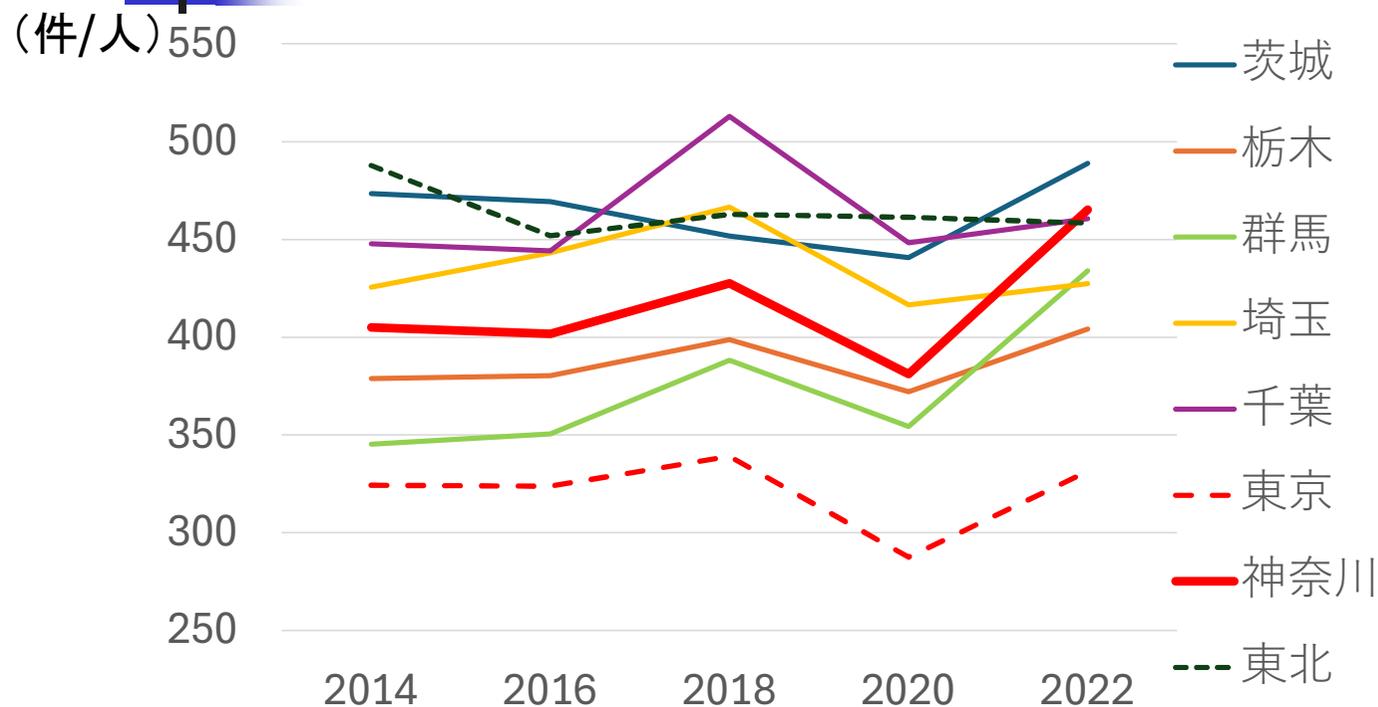
# 麻酔科医1人あたりの年間全身麻酔件数でも、 関東（除く東京）が全国最多レベルに



- 関東（除く東京）は2020年度→2022年度の増加が目立つ
- 麻酔科医の東京一極集中が外科系医師より著しい
- 全国平均は2014年度→2022年度で404→408件/人

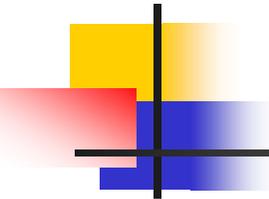
- 全身麻酔件数は 厚生労働省 NDBオープンデータ <https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000177182.html> より、各年度の入院閉鎖循環式麻酔（静脈麻酔を除く）の総数
- 麻酔科医数は厚生労働省 医師・歯科医師・薬剤師調査 <https://www.mhlw.go.jp/toukei/list/33-20.html> より、麻酔科を「主たる診療科」に選んだ病院勤務医師数

# 埼玉、千葉、茨城、神奈川は麻酔科医不足 と言われ続けている東北と同水準の件数



■ 特に神奈川は2022年度  
に向かって増悪傾向

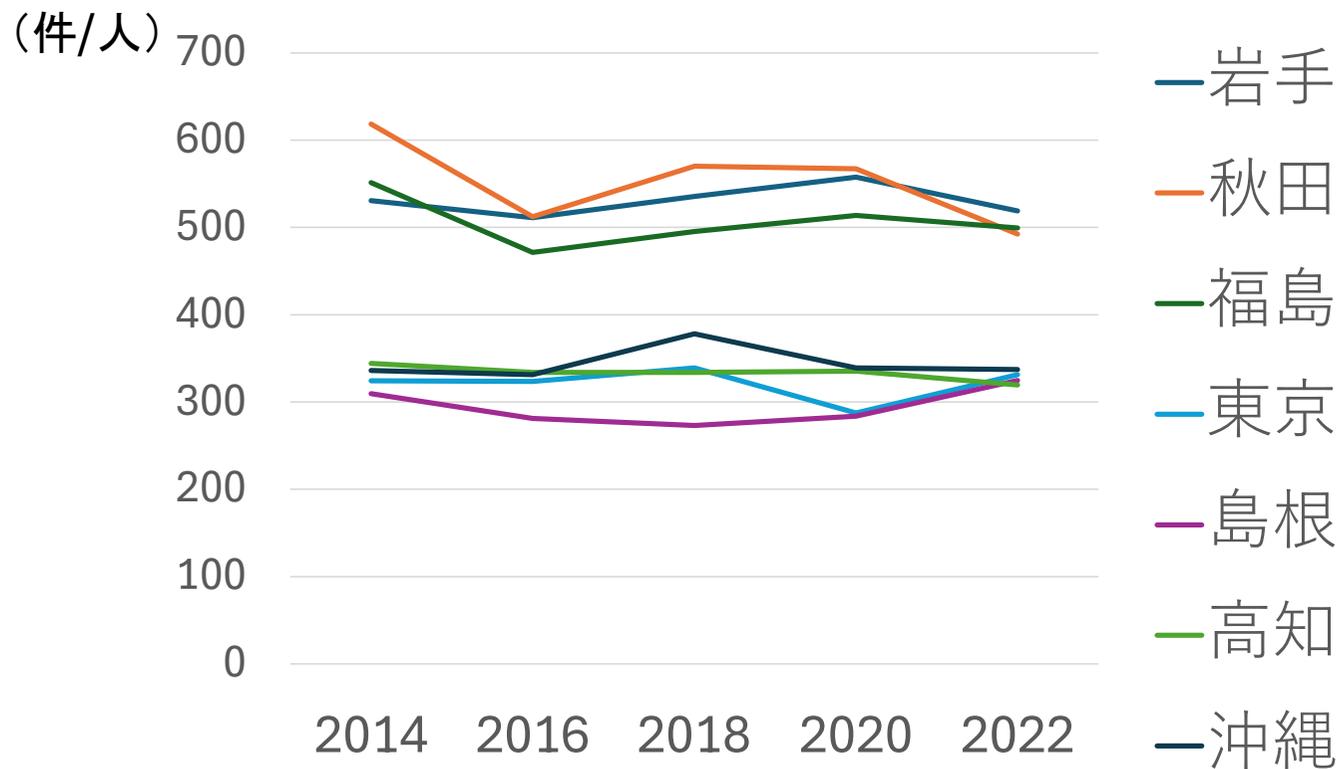
- 全身麻酔件数は厚生労働省 NDBオープンデータ <https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000177182.html> より、各年度の入  
院閉鎖循環式麻酔（静脈麻酔を除く）の総数
- 麻酔科医数は厚生労働省 医師・歯科医師・薬剤師調査 <https://www.mhlw.go.jp/toukei/list/33-20.html> より、麻酔科を「主たる診療科」  
に選んだ病院勤務医師数



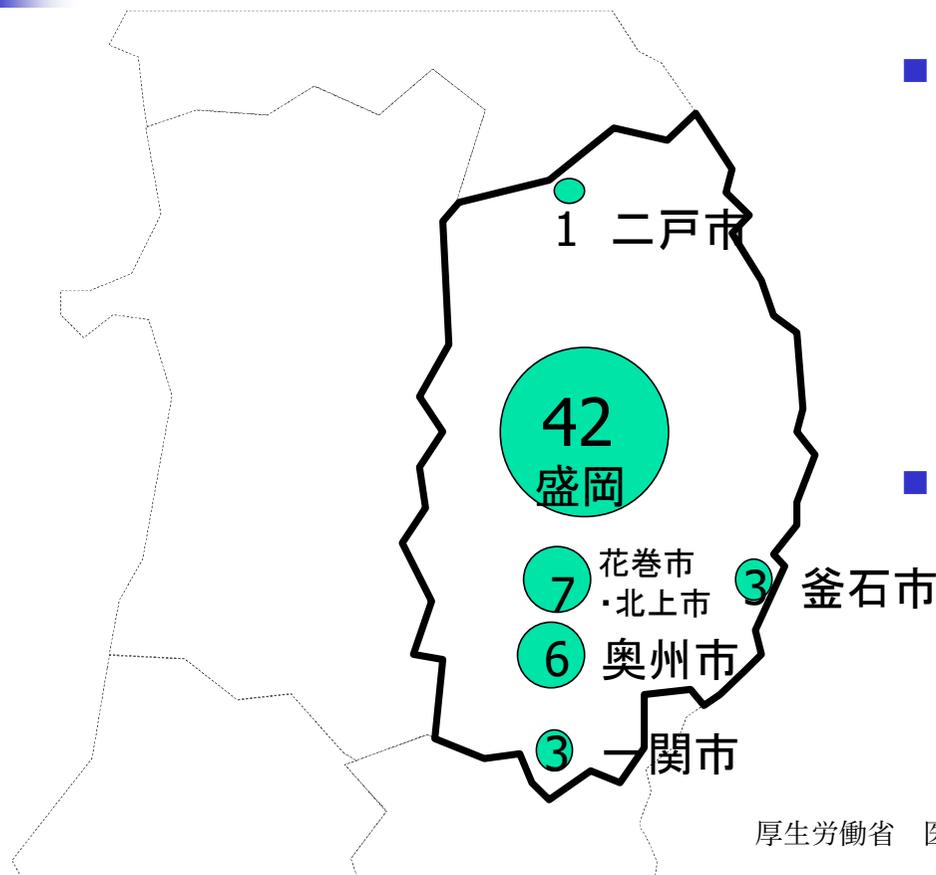
# 全身麻酔件数の都道府県間比較から見え てくること

- 全身麻酔件数（増加率、外科系医師一人当たり、麻酔科医一人当たり）は関東圏（東京除く）が他地方に比べて多い
  - 特に東京への直接通勤圏である埼玉、千葉、茨木、神奈川
  - 一見医師が多そうだが医療需要も負けずに高い
- 一方、東京は外科系医師や麻酔科医が集中している。
- →もし大都市圏から地方に医師を派遣するとすれば、東京から？

麻酔科医1人当たりの全身麻酔件数は、全国最多と最小で2倍近い差がある。



# 麻酔科医不足の岩手県では、麻酔科医の大半は新幹線沿線に分布する



- 岩手県の麻酔科医1人あたり全身麻酔件数(2022年度)=519件と全国最多レベル  
→岩手県内の配置の工夫では偏在対応困難
- 宮古市、大船渡市、陸前高田市などの太平洋沿岸や、遠野市など内陸に麻酔科を主たる診療科とする医師がいない。

ご清聴ありがとうございました

